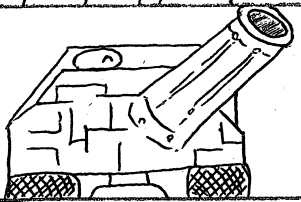
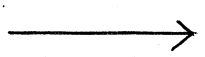


ほう か  
砲火



大砲をくつに時に  
出る火。  
で

たい ほう  
大砲



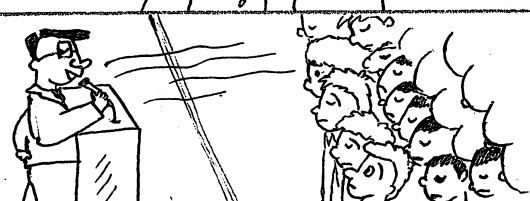
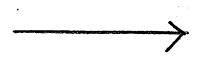
大きな弾丸を遠く  
までうち出す兵器  
だ

じょう だん  
冗談



まじめではない。  
ふざけて話。  
は

じょう ちよう  
冗長



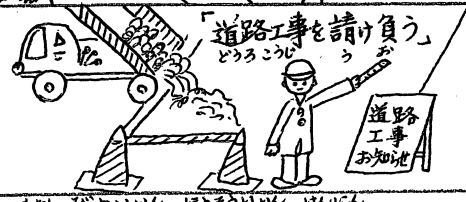
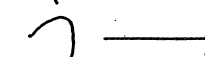
文章・話などが長  
たらしくてむだが多いこと。  
お

せい きゅう  
請求



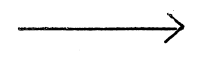
自分が受ける権利の  
ある物事を相手に求  
めること。  
め

う お  
請け負う



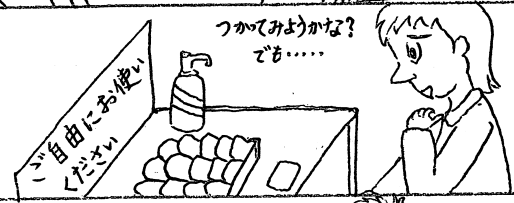
いつまでにいくらで仕上げ  
ると約束して、仕事を  
引き受けること。  
ひ

けん にん  
兼任



ふた いじり やくめ  
2つ以上の役目や  
務めを持つこと。  
つ

き が  
気兼ねする



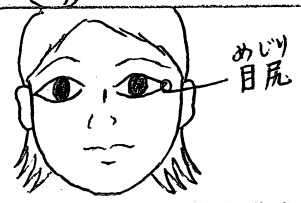
まわりの人がどう懸  
だろうかと、気をつかう  
こと

しり ざ  
尻込み



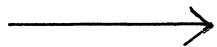
ためらったり、おそれたり  
後ろにさがること。  
う

め じり  
目尻



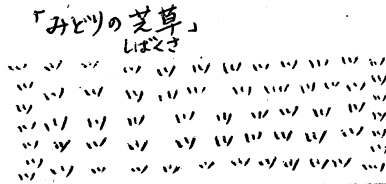
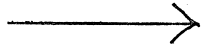
め 目、目に近い  
ほうのはし。  
ちか

しば い  
芝 居



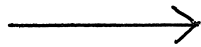
えんげき  
演劇 または、  
えんげき  
演技。

しば くさ  
芝 草



しば  
しば (芝)

ちよう かい  
徴 戒

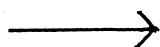


ちようかいしほん う せいじか  
懲戒処分を受ける政治家



こらしめ、いましめ  
ると。

こ  
徴 心  
心らしめる

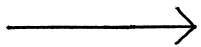


「いたずら小僧を懲らしめる」  
こぞう



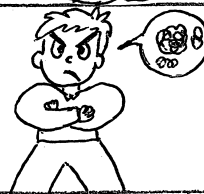
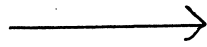
せいざい くわ わる  
制裁を加えて、悪い  
ことはもう二度としないと  
いう気持ちにさせる。

げき ど  
激 怒  
心



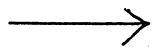
激しくおこること  
はげ

ど き  
奴 気  
心



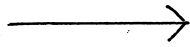
腹を立てている気持ち  
はら た きもち

いか しん とう  
奴 り 心 頭  
心



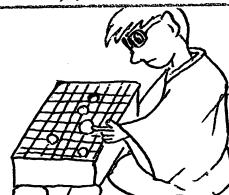
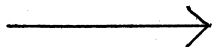
はら た  
腹を立てること。特に、  
その感情  
かんじょう

おこ かお  
奴 った 顔  
心



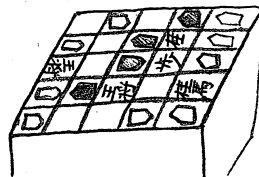
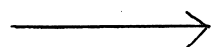
ふかい 不満の気持ち  
かお 顔を  
ちを顔に表す

き し  
棋 士



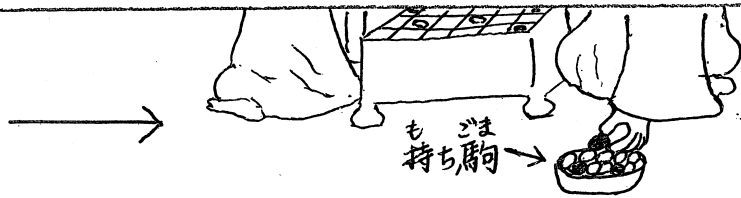
しょくぎょう 職業として 基 または  
将棋をする人  
しょうぎ ひと

しょう き  
将 棋



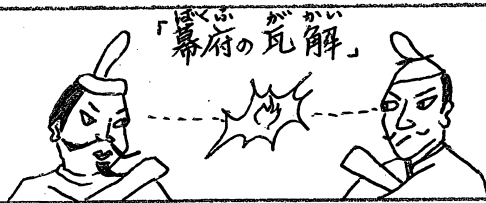
しょうぎ  
室内遊戯の一つ

もち馬駒



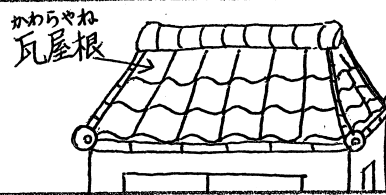
しょうが あいて  
将棋で相手から  
と取って手元に持ち  
いつでも使うことので  
きるこま。

瓦解



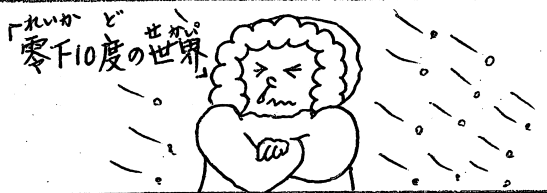
いちぶ  
一部のくずれから  
組織の全体がこわ  
れてしまうこと

瓦屋根



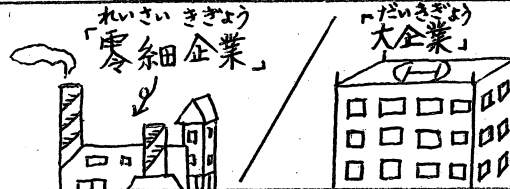
かわら やね  
瓦ぶきの屋根

零下



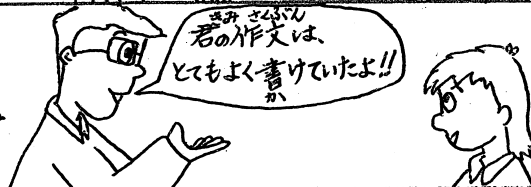
おんじ らいど  
温度がゼロ度  
以下であること。

零細



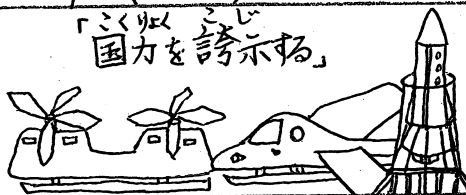
きば  
規模がとても  
小さいこと。

褒め言葉



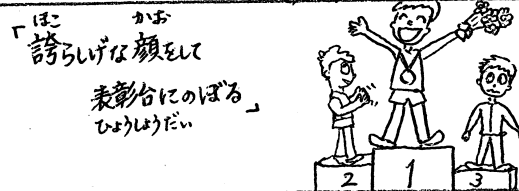
ほめて言うことば

誇示



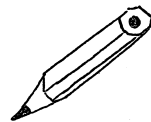
じまん しめ  
自慢を示すこと

誇らしげ



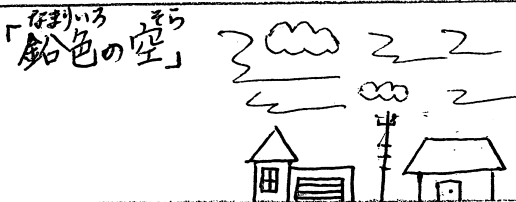
ほこり おもて  
誇りに思っ、人に  
自慢したい気持ちがある  
じまん きも

鉛筆



きよく、ぶえん おんじ  
木の軸に、黒鉛と粘土  
でできた細長い芯を入  
れた筆記具

鉛色



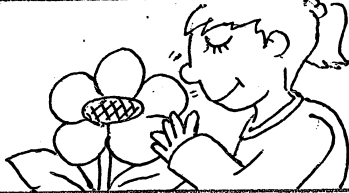
なまりいろ に  
鉛の色に似た  
淡いねずみいろ  
あわ

いち まん えん  
壹 万 円 →



にほん しへい  
日本の紙幣

しゅう かく  
臭 覚 →



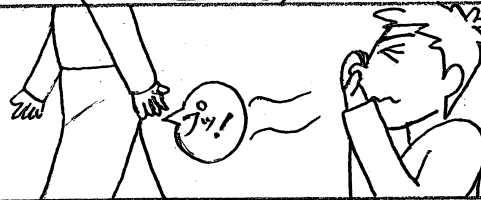
きかく  
嗅覚。  
鼻でにおいを感じる感覚  
はな かん かんかく

くさ  
臭 さ →



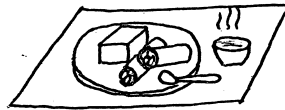
いやなにおいがする

にお  
いやな臭 い →



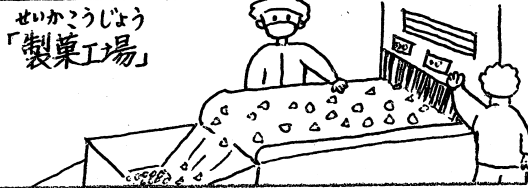
はな かん  
鼻を感じる、においや  
くさみ。

わ が し  
和 菓 子 →



にほんふう かし  
日本風のお菓子。  
まんじゆ、ようかんなど。

せい か  
製 菓 →



かし つく  
菓子を作ること

でき あい  
溺 愛 →



むやみにかわいがる  
こと。

さく おぼ  
策 に 溺 れる →



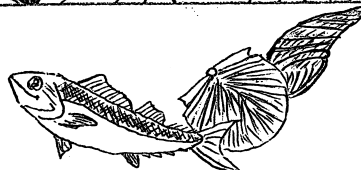
ひと こと おちゆう  
一つの事に熱中  
して我を忘れる

かい にゆう  
介 入 →



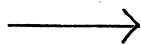
じけん もんだい  
事件や問題など  
があった時に、その事に  
関係のない人がわづらむと  
かんけい ひと

ぎよ かい  
魚 介 →



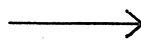
ぎよらい かいらい  
魚類と貝類

せん かい  
旋 回



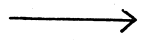
まわ  
ぐるぐる回ること

せん りつ  
旋 律



たか なが おと  
高さや長さのちがう音  
を組み合わせる、  
音の流れ。

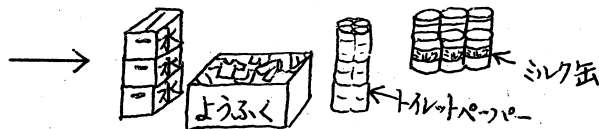
ぼ きん  
募 金



ある目的のために、  
人々から寄付のお金を  
集めること。

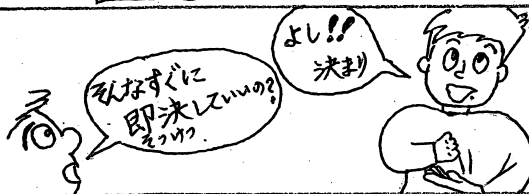
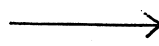
き ふ つの  
寄 付 を 募 る

「被災者への寄付を募る」



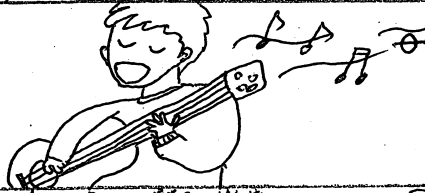
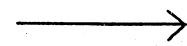
ひろ よ あつ  
広く呼びかけて集める

そ けつ  
即 決



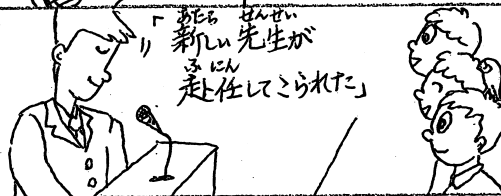
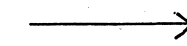
その場で、物事をすぐに  
決めること。

そ きょう  
即 興



その場で感懐におもしろ味  
を、すぐに詩や歌などに  
すること

ふ にん  
赴 任



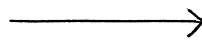
新しい勤め先の  
ある土地に行くこと

にん ち おもむ  
任 地 に 赴 く



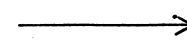
そこで仕事をするように、  
命じられた土地に  
む 向かうこと

かい ひん  
海 浜



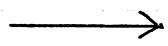
みべ  
海 辺

すな はま  
砂 浜



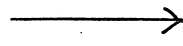
すな かいがん  
砂 浜 の 海 岸

慰 勞



いっしょうけんめい働いてくれた人たちのこれまでの苦勞に感謝し、いたわること。

慰 め

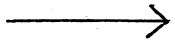


「あまりにも悲しい出来事で、慰めのことばもない」



くろ苦しんだり、悲しんだりしている人をいたわる。

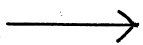
挫 折



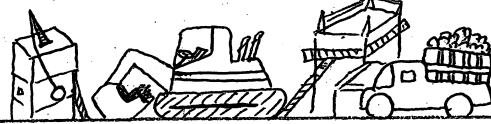
「マラソン大会で初めて、挫折をおじわう」

くじけてやる気がなくなること。

頓 挫



「資金不足で建設計画が頓挫する」



それまで順調に進んでいた物事が急に行き詰まること。